

令和元年度認定日本遺産

総括評価・継続審査結果

068 本邦国策を北海道に観よ！～北の産業革命「炭鉄港」～

068

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「主要施設における来場者の満足度」について、目標を達成している。 ■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」及び「新聞記事として掲載された回数」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	-	-
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 構成団体数や構成団体からの負担金・協力金等が一定程度あることなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る組織整備に必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価	不可	■ 地域の文化に誇りを感じる住民の割合は一定程度あり、日本遺産「炭鉄港」を活かした地域活性化戦略策定等が行われているが、それらに加え行政計画への位置づけなど、戦略立案に係る取組の更なる強化が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 地域プレイヤー数や地域活性化の活動への参加者数が一定程度あることなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を人材育成に必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 主要施設における来場者の満足度が一定程度あるほか、観光に関連した様々な整備事業を行うなど、地域活性化・観光の振興を図る整備に必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 観光入込み客数や宿泊者数が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る観光事業化に必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 日本遺産の認知度や出前講座参加者数が一定程度あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る普及啓発に必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ ウェブサイトの閲覧数や新聞への掲載数が一定数あることなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る情報編集・発信に必要な取組が概ね実施できている。
総合評価		可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

2

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 課題や対策が細かく整理され、「保存する意味としての価値」と「活用する”有用性としての価値」など、産業遺産としての特性を踏まえたビジョンを設定している点が評価できる。 ■ 負の遺産とみなされがちな産業遺産に対して9つの具体的な取り組みを中核に据え、多面的・多彩な施策の確実・効果的な実行が期待されることが評価できる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 民間組織も巻き込んだ炭鉄港ラウンドテーブルを新たに設置し、多様な関係者を交えてそれぞれの主体的な取組を総括できる体制となっている点が評価できる。 ■ 中心となる組織が北海道庁空知振興局から炭鉱の記憶事業団などの民間組織に移り、地域からのアイデアを取り込んだ創造的な活動に繋げている点が評価できる。
総合評価	■ これまでの取組成果を活かしつつ、明解で意欲的なビジョン設定および実現に相応しい体制となっている点が評価できる。 ■ 炭鉄港を活かした地域づくり・人づくりを中心に、地域を支え活かす「ヒト」に対して新たな事業を創造していく姿勢が評価できる。

評価結果	重点支援地域に認定
------	-----------

3

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込数」及び「観光客の満足度」について、目標を達成している。 ■ 「外国人観光客数」及び「施設利用者」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」、「日本遺産を活用した取組数」、「日本遺産に関連する事業を展開する事業者数」、「コーディネーター等育成講座修了者による活動件数」及び「学習体験をした児童・生徒の数」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」、「日本遺産に関する旅行商品数」、「調査対象文化財を活用した商品開発数」及び「嗜好性調査を踏まえた商品開発数」について、目標を達成している。
(4) その他	不可	■ 「コンテンツダウンロード数」及び「日本遺産『みちのくGOLD浪漫』の認知度」について、目標を達成していない。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

4

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ ワーキンググループの設置数や日本遺産を活用した取組数が一定数あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る組織整備に必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 日本遺産との関係性を明確にした行政計画数や支部会議・ワーキンググループの開催数が一定あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る戦略立案に必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 日本遺産関連の事業展開を行う事業者数やガイドの活動件数が一定あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る人材育成に必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 日本遺産を活用した取組数や観光客の満足度が一定あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る整備に必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 日本遺産関連の商品・サービス数や旅行商品数が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る観光事業化に必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	不可	■ 学習体験を経験した生徒数が一定程度いるが、地域での認知度等の向上に向けた更なる普及啓発の取組が望まれる。
(7) 情報編集・発信	個別評価	不可	■ HP等に掲載されたコンテンツのダウンロード数や再生数が一定数あるが、認知度の向上に向けた更なる情報編集・発信の取組が望まれる。
総合評価		可	■ 全体として、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

5

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 東北の特徴・現状を踏まえたビジョンが策定されており、取組も具体的で分野別のパートナーシップ制度と拡充、核となるガイドランス施設の意識や周遊性確保などが評価できる。 ■ 持続的な地域活性化のために、施設の入込客数だけでなく経済的な指標を設定して取り組むことが期待される。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 地域プロデューサーを軸として、構成文化財の関係者や観光事業者等のパートナー等、民間も含めた体制になっている点が評価できる。 ■ 推進協議会だけでなくパートナーシップ制度の運営や、そのためのワーキンググループの設置等、動きがある組織となっている点が評価できる。
総合評価	■ 全体として非常に意欲的であり、体制を整備し、日本遺産事業を効果的に推進する姿勢がある点が評価できる。 ■ 今までの取組成果を活かしつつ、パートナーシップ制など、ビジョンの実現に相応しい体制・計画となっている点が評価できる。
評価結果	重点支援地域に認定

6

070 里沼（SATO-NUMA）―「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化―

070

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」について、目標を達成している。 ■ 「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「小・中学生における日本遺産「里沼」の認知度」及び「日本遺産「里沼」関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産「里沼」への協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	-	-
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

7

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 日本遺産協力団体数やふるさと納税額などが一定程度あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る組織整備に必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価	不可	■ 日本遺産関連で開発された商品・サービス数が一定数存在し、行政計画への日本遺産の位置づけも行われているが、戦略立案に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 地域プロデューサーや地域プレーヤー数が一定数存在するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る人材育成に必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	不可	■ ストーリー解説サインの設置数やガイドブック・パンフレット作成数等、受入体制の整備が行われているが、整備に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 観光入込客数やレンタサイクル貸出数が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る観光事業化に必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 日本遺産認知度や普及啓発事業への参加者数が一定程度あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る普及啓発に必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ ウェブサイトの閲覧数やサイト・Xの投稿数が一定数あることなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る情報編集・発信に必要な取組が概ね実施できている。
総合評価		可	■ 全体として、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

8

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 市の総合計画や文化財保存活用地域計画で日本遺産の位置づけが明確化され、里沼の認知度やシビックプライドの醸成が行われていることは評価できる。 ■ 構成文化財を活かした観光事業化など地域経済の活性化に向けて、これまでの成果と課題を明確にしたうえで、方向性とその実現に向けた具体策を検討し、持続的な地域活性化のために経済効果につながる取組を行うことが望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 市民への普及啓発や子どもへの郷土学習を通じた認知度向上は大きな基盤となっており、かつ東武鉄道や東洋大学などの民間事業者を構成員に巻き込んでいる点は評価できる。 ■ 行政主導を脱却し、持続可能な体制づくりを目指した役割分担とロードマップの作成や地域プロデューサーの関与度を高めることが望まれる。
総合評価	■ 「里沼学」をはじめ、「里沼」という新しい領域を活かした地域活性化を進め、里沼の歴史的価値の保全を期している点は評価できる。 ■ 今後どのように日本遺産を活用してこれまでの課題を解決し、観光振興・地域活性化を目指していくか、また、持続可能な自然資源の保全を実現するかについて検討・具体化することが望まれる。 ■ 日本を代表する製粉会社やうどんなどの食文化、紬など豊かな文化をもたらしした沼であり、それらの文化を基に新たな産業創造や経済活性化の方向性を示すと共に、里沼の環境やブランドの質を守るような方策及び体制の充実が望まれる。

評価結果	認定継続
------	------

9

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として目標を達成している。

10

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	不可	■ ふるさと納税を一定程度確保しているものの、協議会への民間企業等の参画が十分でなく、取組内容について組織整備の評価項目と関連性が薄いことから、自立・自走した組織とするための財源の確保等、組織整備に向けた取組の充実化や組織整備に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 両市の文化財保存活用地域計画や都市計画マスタープランに日本遺産が位置付けられ、住民の認知度や文化への誇りも高いことや、行政計画に基づく基本的な取組も進められており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ ガイドが一定数確保され、ガイド養成講座が実施されているほか、人材育成を目的としたワークショップや講座などの基本的な取組が進められており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	不可	■ 解説案内板の整備や多言語化、構成文化財の整備など基本的な取組は実施されているものの、整備に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 構成自治体の周遊を目的としたイベントの参加者は多いとは言えないものの、観光客の入込数は一定以上あり、日本遺産関連のツアーや体験プログラム、商品の造成など基本的な取組が進められており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 地域内での日本遺産の認知度は高く、小学生を対象としたガイド育成・交流や他都市との交流事業、市民向け講座など、普及啓発に向けた取組が進められており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	不可	■ 様々なメディアを活用した情報発信や多言語対応といった基礎的な取組は行われており、ホームページのプレビュー数は一定数あるものの、Facebook以外のSNSの運用が停止しており、運用再開等の対応が望まれる。
総合評価		可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

11

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ ビジョンの具体性や地域の独自性等のビジョンへの適切な反映が不十分なため、ビジョンの更なる具体化・磨き上げ等が望まれる。 ■ 体験型周遊コースの充実や地域プレイヤーの育成といった目標が掲げられているものの、それを具体的にどのように進めていくのが不明確であり、6年間の取り組みを踏まえた新規性や独自性にも乏しく、取組の具体化等が望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 文化財の好循環に向け、文化財保存活用地域計画を踏まえた確度の高い取組が言及されている点は評価できる。 ■ 協議会と分科会の関係性が不明確であり、組織体制の詳細な役割分担や自立自走に向けた組織体制の構築等といった取組の強化が望まれる。
総合評価	■ 福井市と勝山市が連携を進めようとしている姿勢や石文化のテーマを活かそうとする意図が感じられる点は評価できる。 ■ 現状や課題の分析はされているものの、その改善ができるような施策が提示されておらず、ビジョンや取組の具体性に乏しいことから、構成文化財の活用計画および体制整備を通じて、持続可能で実効性のある観光活用の仕組みを構築することが望まれる。
評価結果	認定継続

075 旅引付と二枚の絵図が伝えるまち ―中世日根荘の風景―

075

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「歴史館いずみさの外国人観光客入館者数」、「施設等入館者」及び「PR活動参加者」について、目標を達成している。 ■ 「関西空港利用者数」、「外国人延べ宿泊者数」、「観光客宿泊者数」及び「日本遺産ガイドセンター入館者数」について目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「日本遺産を活用した事業の取り組み数」について目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産のPR支援団体や案内ガイドの育成」について目標を達成している。
(4) その他	不可	■ 「日本遺産「日根荘」ホームページ閲覧数」、「日本遺産「日根荘」アプリの解説・街歩きマップの作成」及び「日本遺産の認知度」について目標を達成していない。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 日本遺産への協力団体数やふるさと納税額が一定程度あり、民間企業と日根荘に関連した商品を開発しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価	不可	■ 商品開発やモニターツアーの実施ができているものの、日本遺産の認知度はあまり上がっておらず、認知度向上に向けた戦略立案が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 地域プロデューサーや地域プレイヤーが一定数存在し、ガイド育成や地域住民を対象とした講座を開催しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 日本遺産に興味関心を持った人の割合が一定程度あり、案内板の整備や多言語パンフレットを作成しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 観光客宿泊数が一定程度あり、日本酒や温泉の素など幅広い日本遺産関連商品を開発・販売しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 小学生向け出前講座への参加者数や民間主導のイベント数が一定程度あり、構成文化財写真展やPRイベント・ワークショップを実施しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ ホームページやSNS、YouTube等の多様なチャネルを活用した情報発信を行っているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価		可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

14

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 現状の課題を踏まえたビジョンの策定や取組内容の具体化ができおり、これまでの事業も着実に推進している点が評価できる。 ■ 農村景観を体感できる文化観光としての方向性が明確化されており、ツアーの周遊ルートを中核とした好循環に向けた事業が適切に検討されている点が評価できる。 ■ 地域における人材育成や観光コンテンツなどの収益化事業などがバランスよく計画されている点が評価できる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 民間事業者の能動的関与を得つつ事業を遂行する体制が整備されており、市外の専門家や教育機関など幅広いステークホルダーを巻き込んでいる点が評価できる。 ■ 各ステークホルダーの役割分担・関与方法の明確化や、戦略立案などに関してリーダーシップを取る主体の明確化が望まれる。 ■ 関西空港の集客力に加えて、日根荘独自の魅力を活かした集客方法を検討することが望まれる。
総合評価	■ これまでの取組の課題を踏まえた明確なビジョンの策定ができおり、ビジョンの実現に資する体制整備や取組内容が具体的に計画されている点が評価できる。 ■ 日本遺産を基軸にした文化観光、シビックプライドの醸成など、幅広い取組内容が計画されている点が評価できる。 ■ 日本遺産を地域ブランドとして守る意識が強く感じられる計画となっており、3つの日本遺産の連携にも期待を持てる点が評価できる。

評価結果	認定継続
------	------

15

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、概ね目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	■ 「日本遺産への協力団体数」について目標を達成していない。
(4) その他	不可	■ 「小売店舗年間商品販売額」について目標を達成していない。
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成しているとは言えない。

16

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	不可	■ 日本遺産への協力団体数は一定程度あるものの、協議会への持続的な収益額の確保や組織整備に関する適切な評価指標の設定など、組織整備の土台となる取組が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価	不可	■ 文化財保存活用地域計画等の自治体の長期計画への位置づけなど基礎的な取組が行われているものの、認知度を向上させるための方針の検討など、戦略立案のさらなる強化が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 地域プレイヤーを一定数の確保しているほか、観光ガイドの育成や市内の観光関連事業者等を対象とした人材育成講座の開催が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	不可	■ PR看板の整備や多言語案内アプリの作成など基礎的な取組が行われているものの、取組内容を評価するための適切な指標の設定や、保存・修理や日本遺産コーナーの設置だけに留まらない日本遺産事業としての更なる整備が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 観光客入込み数が一定程度あるほか、周遊促進事業の実施や日本遺産関連商品の開発が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 小中学生向けの日本遺産に関する授業・講演会の実施を通じて、授業の受講者数や理解度が一定程度あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ ホームページやSNS等の多様なチャネルを活用した情報発信を行い、観光ポータルサイトでは閲覧数が増加傾向にあるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価		可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

17

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ ビジョンについて、日本遺産事業等を通じてどのような地域にしたいのか具体化するとともに、地域の独自性を持たせることが望ましい。 ■ これまでの取組・課題を整理した上で、ビジョンの実現に向けて取組内容の具体化を図ることが望ましい。 ■ 日本遺産ストーリーを体感させる施策や地域住民の認知度向上に向けた施策を検討することが望ましい。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ これまでの取組課題を踏まえて、組織の収益性向上に向けた改善策が示されている点が評価できる。 ■ 地域住民の参画を促す仕組みづくりやDMOの設立など、自立自走に向けた実効性のある取組内容を検討・具体化することが望ましい。 ■ スピード感を持って協議会の法人化に取り組むことが望ましい。
総合評価	■ 全体的に日本遺産としての活動が行われる計画が策定されている点が評価できるが、ビジョンとそれに紐づく事業全体が抽象的であり、日本遺産の固有性や強みをどのように活かしていくか検討・具体化を図ることが望ましい。 ■ 事業予算を適切に活用するための詳細なアクションプランの設計が望ましい。 ■ 楠公めしなどの商品開発にとどまらない新たな基軸を打ち出すために、民間事業者の参画をさらに促進することが望まれる。
評価結果	認定継続

077 「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂

077

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「外国人観光客数」について、目標を達成している。 ■ 「観光客入込み数」及び「宿泊者数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」、「小中学生における認知度」及び「日本遺産に係る地域伝統文化の伝承を担う保存会等の数」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産のためのふるさと納税額」及び「日本遺産への協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	不可	■ 協力団体数やふるさと納税額が一定程度あるものの、組織整備に関する取組をより一層推進することが望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 認知度が一定程度あるほか、観光・移住定住戦略計画への位置づけが行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 地域プレイヤーが一定数存在するほか、ガイド育成や研修会を実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	不可	■ スマートガイドの導入や案内板の整備などが行われているものの、整備に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	不可	■ ストーリーに関連した旅行商品の造成や食品開発などが行われているものの、より効果的な事業の検討等、観光事業化に向けた取組のより一層の充実が望まれる。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 日本遺産の認知度や民間主導のイベントの数が一定程度あるほか、展示会や出前講座を実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ WEBサイトの閲覧数やSNSのフォロワー数が一定数あるほか、PR動画の作成やSNSを活用した基礎的な情報発信が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価		可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

20

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 新たに造成された「あこうミネラルツーリズム」が日本遺産のストーリーを伝える企画となっている点は評価できるが、実現に向けた具体策の提示が求められる。 ■ 計画全体が市としての大きな方針を示す内容に留まっているため、日本遺産を活かした地域活性化につなげるためのビジョンを整理することが望まれる。 ■ ビジョンに地域の独自性を持たせ、取組内容についてビジョンの実現に向けた具体的な方策まで整理することが望まれる。 ■ 出前講座の受講者数や情報発信の頻度を増やすなど、地域への日本遺産ストーリー等の浸透度を高めることが望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 地域DMOの参画や、協議会と民間団体の連携のための部会設置などにより体制強化が図られている点が評価できる。 ■ 民間主体の活動の推進や地域プロデューサーの確保などを通じ、事業成果の創出に向けた取組の強化が望まれる。 ■ 自立自走に向けては、公金だけではなく、観光事業等による財源創出（好循環の実現）取組を推進することが望まれる。
総合評価	■ 過去6年間の活動経緯を踏まえ、これまでの延長線上の事業だけではなく、新たな地域活性化策の検討が望まれる。 ■ 塩の販路開拓だけでなく、日本遺産のストーリーを意識したうえで更に掘り下げ、日本人と塩づくりの関係等、ストーリーを体感できる事業の展開が望まれる。

評価結果	認定継続
------	------

21

総括評価 概要

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「学校・住民主体で実施された講座等の取組件数」について、目標を達成している。 ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」及び「日本遺産への協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

22

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ サポーター登録者数やふるさと納税額が一定程度あるほか、関連団体との連携やサポータークラブの運営など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 認知度が一定程度あるほか、連携中枢都市圏ビジョンや構成自治体の総合計画等への位置づけ、マーケティング調査による観光客のニーズ把握など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 地域プロデューサーをはじめ、日本遺産ガイドや日本遺産の応援サポーターの養成を実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	不可	■ 日本遺産紹介コーナーや解説板、新たなガイド施設（仁風閣）などの整備、多言語PR動画の制作などが行われているものの、整備に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ ストーリーに関連した旅行商品や観光体験プログラムを造成するほか、周遊促進のためのデジタルスタンプラリーの実施や周遊バスの整備など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 日本遺産の認知度や民間主導のイベントの数が一定程度あるほか、パネルの巡回展示や住民向け講座を実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ WEBサイトの閲覧が一定数あるほか、SNSを活用した情報発信を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価		可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

23

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 来訪者および地域住民の内外の視点から目指すべき姿・ビジョンが描かれた点が評価できる。 ■ これまでの取組成果の分析から課題を抽出した上で、課題に対して事業が適切に組み立てられている点が評価できる。 ■ 計画として大きな枠組みは整理されているが、各地域にどのように落とし込むか、ビジョン実現に向けた取組内容のいっそうの具体化が望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 組織運営の中心としてプロジェクトリーダーやDMOが位置付けられている点が評価できる。 ■ 地域毎の活動を支える組織設計や各地域同士の連携方針、行政と民間の役割分担について計画の具体化を図ることが望まれる。
総合評価	■ 過去の課題を踏まえて目的意識を持った取組が計画されている点が評価できる。 ■ 各事業の予算が一定程度あり、過去の活動成果を踏まえた計画となっている一方、経済効果に結び付けるためには、もう一段、誘客に向けた魅力的な取組を計画・具体化させることが望ましい。 ■ 全体的なブランディングを地域にうまく浸透させ、活用するための工夫が望まれる。 ■ ビジョンの実現に向け、具体的な体制と取組を検討することが望まれる。

評価結果	認定継続
------	------

24

079 神々や鬼たちが躍動する神話の世界 ～石見地域で伝承される神楽～

079

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」について目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	■ 「石見神楽出張上演制度の利用件数」について目標を達成していない。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成しているとは言えない。

25

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 神楽団体等の協力団体数やふるさと納税額が一定程度あり、おもてなし受入体制を充実するための講演会を実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 様々な圏域での認知度調査やデータに基づく戦略立案を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 神楽産業関連の地域プレイヤーが一定数おり、民間団体主体での後継者育成を継続的に実施しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 石見神楽定期公演における県外からの観覧者割合が高くなっており、石見神楽の定期公演会場の整備や観覧者向け演目紹介動画の作成を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 石見地域の宿泊者数が一定程度あり、石見神楽の出張上演や高付加価値コンテンツの造成・販売を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 石見地域の市町における日本遺産展示会の開催、日本遺産ワークショップの実施、子ども神楽体験教室の開催を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ 協議会ホームページやSNSを活用した情報発信、県外でのプロモーションやワークショップの実施、PR映像の制作・発信など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価		可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

26

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 明確なビジョンがあり、現状把握や課題抽出が的確で、それに基づいた具体的な改善方策が提示されている点が評価できる。 ■ 定期公演をベースに高付加価値なコンテンツを意欲的に展開し、自立性やストーリー全体を踏まえた世界観の創出に取り組んでいる点が評価できる。 ■ 神楽を軸とした地域活性化の取り組みが、文化資源を活かした新たな「産業観光」の視点を含み、観光振興と地域活性化という明確な目的をもとに進められている点が評価できる。 ■ 出張神楽などの具体的なコンテンツがマーケティングの視点を取り入れつつ実行している点が評価できる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ DMOを核とした官民連携の推進体制が整備され、神楽団体を含む組織づくりや体験教室を通じた後継者育成が進められている点が評価できる。 ■ 定期公演など継続性を意識した取組が行われており、推進体制が工夫を重ねて変化している点が評価できる。 ■ 日本遺産事業全体の戦略立案や、各地域の取組を立案・支援するための体制をさらに強化することが求められる。 ■ 自立・自走に向けた取組が道半ばであり、5年後・10年後を見据えて日本遺産事業全体を俯瞰して統括できる人材の確保が望まれる。
総合評価	■ 安定感のある計画であり、神楽を中心とした日本遺産ストーリーを活用した観光振興を図られている点が評価できる。 ■ 文化資源の保存と活用を両立しながら持続可能な発展を目指す具体的な取組を計画されている点が評価できる。 ■ 官民の役割分担を含めた好循環の事業モデルの創造が期待される。 ■ 個々の産業や職人等、神楽産業を活かす事業の成否が重要であり、そのための体制強化や新たな事業提案の工夫が求められる。 ■ 好循環の実現に向けて、観光消費額等の金額目標を設定し、継続的に把握することが望まれる。 ■ 地域への来訪者に日本遺産ストーリーを理解いただくためのガイダンス機能の強化が求められる。

評価結果	認定継続
------	------

27

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「外国人観光客数」及び「外国人宿泊者数」について、目標を達成している。 ■ 「観光客入込み数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、概ね目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産のためのふるさと納税額」及び「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

28

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	不可	■ ふるさと納税額の一定額の確保や「日本遺産石の島つながるガイド会議」などの連携事業が進められ、DMO認定やガイドの組織化が行われているものの、それらの組織的な位置付けや組織全体の運営実態が不明瞭であるため、各組織の役割や連携の位置付けの明確化が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 地元住民の認知度が一定あり、構成自治体の計画への位置付けやマーケティング調査を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図るための戦略立案に係る基礎的な整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 地域プレイヤーが一定数存在し、ガイド養成やサポーター養成講座を実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 観光客の満足度や宿泊客数が一定程度あり、構成自治体で共通の解説案内板を整備するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 観光入込客数が一定程度あり、ストーリーに関連した旅行商品の造成を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 日本遺産の認知度や民間主導のイベント数が一定程度あり、展示会や巡回展の開催等を通じた普及啓発を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ 日本遺産特設サイトやSNSの運営、観光デジタルサイネージの設置や、都市部イベントでのPR等の多様なチャネルを活用した情報発信を行っており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	■ 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

29

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 離島という地域特性が抱える課題を的確に分析し、その解決に向けた事業計画が立案されてされており、クルーズ事業への挑戦や財源確保を含めた多角的な検討は、実行力を持つ計画として評価できる。 ■ ビジョンの具体性やストーリー性の強化、目標設定の消極性の改善、財源確保の具体化、広域的な連携体制の実効性の向上が求められ、観光と文化のバランスを意識した取り組みや海外広報戦略の充実が望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ これまでの組織課題を踏まえた改善の方向と具体策が明確であり、地域おこし協力隊や宿泊税導入といった意欲的な取り組みが進められる中で、シリアル型離島の制約に対応しながら、それぞれの地域の強みを活かした計画が策定されている点が評価できる。 ■ リーダーの配置育成や自治体主導を乗り越える展開が求められ、民間事業者・コーディネーターの活用や好循環の創出に向けた具体的な仕組みの検討が必要であり、行政主体に偏らない体制構築や、体制強化の実効性向上が望まれる。
総合評価	■ 現状を踏まえた改善策が含まれた着実な計画案となっており、取組内容や体制についても評価できる。 ■ 離島の石材産業遺構などの観光資源を活かした方向性が示されており、ビジョンを着実に実行することで成果が期待される点が評価できる。 ■ 離島の制約を前提にすることで計画が縮小再生産に陥らないよう、日本遺産を駆使した新たな価値創出が求められる。 ■ リーダー人材の育成や体制強化の実現可能性が懸念され、観光の質向上と組織・インフラ整備の方針について具体的な検討が望まれる。
評価結果	認定継続

082 薩摩の武士が生きた町 ～武家屋敷群「麓」を歩く～

082

総括評価 概要

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「各麓への観光客入込み数」、「ホームページへのアクセス数」について、目標を達成している。 ■ 「観光客入込数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」、「出前授業の回数」及び「小中学生における認知度」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」及び「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	不可	■ 「ガイド人数」や「副読本のダウンロード数」について、目標を達成していない。
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成しているとは言えない。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 協力団体数が一定程度いるほか、プロジェクト委員会やワークショップの開催などの取組も行っており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価	不可	■ 南さつま市総合振興計画等一部の長期計画において日本遺産の位置付け等が行われているものの、各地域を統合した全体の中長期計画は地域活性化計画以外に確認ができなかったため、全体の中長期計画の具体化・更新等が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 各麓に地域プロデューサーが配備されており、ガイド育成に向けたワークショップなども一定程度行われているため、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 観光客の理解の深まりに関する満足度が一定程度あるほか、各麓に共通解説板を設置するといった取組を行っており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ スタンブラリーの実施や観光素材集の作成などの基礎的な取組を実施しており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 副読本を活用した出前授業に取り組み、一定程度の参加人数を確保しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ 多言語に対応したホームページの整備やYouTubeの運用を行い、定期的な更新/投稿の結果、一定程度の閲覧数を獲得しており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価		可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

32

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 地域の状況を踏まえ、一定程度独自性があるビジョンになっているものの、地域特有の課題に対応したものとなっておらず、具体性も乏しいため、ビジョンの更なる具体化・磨き上げ等が望まれる。 ■ 取組についてもビジョンと同様具体性に欠けるため、取組の具体化や地域協議にて委員から指摘があった民間企業の更なる巻き込み、解説案内板の拡充等が望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 体制整備は一定程度行われているものの、行政主導であり、民間事業者の巻き込み強化や、自立自走に向けた財源確保に係る取組を強化することが望ましい。 ■ 組織内の役割分担を明確にするとともに、シリアル型としての連携強化について取組の充実が望まれる。
総合評価	■ 日本遺産としての活動が行われる計画となっている点は評価できるが、ビジョンやその実現に向けた取組についてより一層具体化することが望ましい。 ■ 組織体制について、シリアル型としての統合的なマネジメント機能の強化、民間事業者の巻き込み等の改善を図ることが望ましい。

評価結果	認定継続
------	------

33

総括評価 概要

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」について、目標を概ね達成している。 ■ 「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を概ね達成している。
(4) その他	-	-
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

34

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 会員の民間団体数や県・市の負担金が一定程度あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る組織整備に必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 日本遺産HPのアクセス数や行政計画への位置づけ数が一定程度存在するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る戦略立案に必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価	不可	■ 地域プレイヤー数は一定存在するが、多分野をつなぐトータルのコーディネートができる地域プロデューサーを育成するなど、更なる人材育成に必要な取組が望まれる。
(4) 整備	個別評価	不可	■ 多言語解説板等、日本遺産の構成文化財に関する更なる整備の取組の推進や、整備に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 観光入込客数やモデルコース等の設定数が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る観光事業化に必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 普及啓発マンガ本の配布数や市民講座の満足度が一定程度あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る普及啓発に必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ 日本遺産HPのレビュー数やプロモーション動画の再生数が一定数あるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る情報編集・発信に必要な取組が概ね実施できている。
総合評価		可	■ 全体として、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

35

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 地域住民、訪問者、地元事業者の好循環が意識されていることは評価できる。 ■ 今後、好循環を生み出すための意識に留まらず、取組の強化を行うことが望まれる。 ■ 従来型の観光の一般的内容に留まることなく、日本遺産のテーマである「琉球料理」「泡盛」「芸能」を活用したビジョンを描くことが望まれる。 ■ 宮廷料理、琉球料理、沖縄料理の区分、また那覇と浦添における位置付けを明確にした上で、ビジョンと事業内容を精査することが望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 事業化を通じていずれ民間の力で運営されるべきと理解し、好循環を生み出そうとしている意識は評価できる。 ■ 伝統工芸や芸能などの団体や、食文化の担い手として一次・二次産業従事者等にも着目する等、役割分担を明確にしながらそれら民間事業者を協議会の構成団体に巻き込む等、官民あがての体制を構築することが望まれる。
総合評価	■ 従来型の観光から文化観光に舵を切ろうと意識されていることは評価できる。 ■ 食文化や芸能などの日本遺産ストーリーを意識した取組の充実や事業全体をプロデュースできる人材・業者の発掘を通じた人材育成の取組等が望まれる。 ■ ガイドツアー・体験コンテンツ・商品販売等の日本遺産関連事業を通じた観光事業化の取組を行うことで、より経済効果を生み出すことが望まれる。

評価結果	認定継続
------	------